

平成30年度北育ち元気塾 第7回 研修会を開催

平成30年12月4日(火)、第7回北育ち元気塾では、空知4Hクラブ連絡協議会・空知総合振興局主催の空知青年農業者会議に出席しました。この会議は、青年農業者や新規就農者が一堂に会し、この1年取り組んだ農業技術等の情報交換を行い、資質の向上を目指しています。北育ち元気塾からは、塾生10名が出席しました。

1 アグリメッセージ



写真 菅原さん（アグリメッセージ）

アグリメッセージでは、農業者が日頃の農業経営や、農業への思い等の意見を発表します。北育ち元気塾からは、深川市の菅原浩道さんが、「台風が変えた私の人生」と題し、就農に至るまでの経緯を発表しました。菅原さんは、台風をきっかけに離農の危機にあった農家の女性と結婚して農家を継いで農家になりました。1年目は豊作、2年目には台風害を受けましたが、負けずにやれることをやっていく、将来はさらに多角化を目指し、地域の活性化を目指し

たいと意気込みを語っていただきました。

審査員からは「メッセージ性が強く、惹きつけられた。決意を忘れず営農を続けてほしい」と講評をいただきました。

2 プロジェクト発表

プロジェクト発表では、経営・技術の改善や地域活動の成果をまとめて発表します。

北育ち元気塾からは、北竜町の木下大輔さんが「高品質米への挑戦 ～3種のケイ酸資材の効果比較～」と題し、3種のケイ酸資材が水稻に与える影響を比較した調査結果を発表しました。

木下さんの農場では高品質米の生産に力を入れており、ケイ酸を使うことでイネの収量・品質の向上を目指しています。今回の調査

の結果を活かし、高品質米の生産を増やして、農場だけでなく地域全体の振興につなげていきたいと抱負を語っていただきました。



写真 木下さん（プロジェクト）

講評では、ケイ酸資材は様々な種類があり、散布方法にも基肥・側条・追肥等がある中で調査が丁寧に行われており、興味深い内容のため、今後の調査にも期待していると評価されました。

3 結果



今年のアグリメッセージの受賞はながぬま4Hクラブ、プロジェクトの受賞は由仁・栗山4Hクラブ合同、由仁町4Hクラブ、ながぬま4Hクラブとなりました。残念ながら北育ち元気塾の二方は受賞を逃しましたが、終了後の懇親会では、農業者同士で話が盛り上がり、明るい雰囲気の中で終わることができました。

写真 会場の様子



写真 発表者を囲んで集合写真